

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年8月11日

【四半期会計期間】 第16期第1四半期(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

【会社名】 株式会社アイセイ薬局

【英訳名】 Aisei Pharmacy Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 江美

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号

【電話番号】 03-3240-0222(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 管理本部長 遠藤 義明

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号

【電話番号】 03-3240-0222(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 管理本部長 遠藤 義明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第1四半期 連結累計期間	第16期 第1四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	13,048,943	14,363,211	55,210,685
経常利益又は経常損失 () (千円)	199,915	676,302	1,521,854
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	216,352	364,981	209,991
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	215,725	463,077	267,842
純資産額 (千円)	3,640,841	4,513,308	4,095,963
総資産額 (千円)	27,224,888	29,675,902	27,484,893
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額 (円)	94.69	159.74	91.90
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	158.12	91.27
自己資本比率 (%)	13.2	15.1	14.8

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第15期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載していません。
- 4 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益又は四半期純損失()」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()」としております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要な事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加、雇用・所得環境の好転等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

調剤薬局業界におきましては、在宅医療の推進やジェネリック医薬品の使用拡大が求められる等、より一層の取り組みを求められるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループの主力である調剤薬局事業では、在宅医療の推進やジェネリック医薬品の使用拡大などの施策に積極的に取り組んでおり、また、効率的な薬局運営や経費削減などを進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高14,363百万円（前年同期比10.1%増、1,314百万円増）、営業利益703百万円（前年同四半期は営業損失159百万円）、経常利益676百万円（前年同四半期は経常損失199百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益364百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失216百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間においては、1店舗の新規出店と1店舗の譲渡を行いました。当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の店舗数は303店舗となりました。

この結果、売上高は昨年度の新規出店の効果等により13,804百万円（前年同期比9.7%増、1,216百万円増）となりました。セグメント利益は、薬局運営の効率化や経費削減を進めた結果、1,464百万円（同111.9%増、773百万円増）となりました。

その他

当社グループでは、主なその他の事業として介護福祉事業（株式会社愛誠会）及び不動産リース事業（株式会社日本医療サービス）を営んでおります。

その他の事業は、売上高633百万円（前年同期比37.6%減、381百万円減）となりました。セグメント利益は、30百万円（同166.3%増、18百万円増）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は、前連結会計年度末の27,484百万円に対し、2,191百万円増加し、29,675百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末の13,677百万円に対し、2,251百万円増加し、15,928百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加2,149百万円、商品及び製品の増加465百万円、売掛金の減少530百万円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末の13,807百万円に対し、60百万円減少し、13,747百万円となりました。主な要因は、のれんの償却等による減少178百万円、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加137百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末の23,388百万円に対し、1,773百万円増加し、25,162百万円となりました。主な要因は、納税資金及び賞与資金の借入に伴う短期借入金の増加1,046百万円、賞与引当金の増加437百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の4,095百万円に対し、417百万円増加し、4,513百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益364百万円の計上、配当の支払45百万円、その他有価証券評価差額金の増加92百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対応すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,000,000
計	3,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,285,000	2,285,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	2,285,000	2,285,000	-	-

(注) 提出日現在発行数には、平成27年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	-	2,285,000	-	1,629,388	-	400,508

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,284,600	22,846	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	2,285,000	-	-
総株主の議決権	-	22,846	-

(注)「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式4株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社アイセイ薬局	東京都千代田区丸の内 二丁目2番2号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

(注)上記の他、当社所有の単元未満自己株式4株があります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清新監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,998,151	5,147,240
売掛金	6,865,095	6,334,335
商品及び製品	2,982,328	3,448,247
原材料及び貯蔵品	607	324
その他	878,580	1,045,803
貸倒引当金	47,224	47,296
流動資産合計	13,677,538	15,928,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,727,794	2,654,865
その他（純額）	3,272,750	3,457,494
有形固定資産合計	6,000,545	6,112,359
無形固定資産		
のれん	3,454,221	3,275,970
その他	273,293	256,420
無形固定資産合計	3,727,515	3,532,390
投資その他の資産		
投資有価証券	462,295	599,944
敷金及び保証金	1,640,397	1,659,453
その他	2,046,154	1,903,652
貸倒引当金	69,553	60,553
投資その他の資産合計	4,079,293	4,102,496
固定資産合計	13,807,354	13,747,246
資産合計	27,484,893	29,675,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,616,249	11,875,819
短期借入金	-	1,046,000
1年内返済予定の長期借入金	1,994,050	2,012,950
未払法人税等	588,411	415,524
賞与引当金	405,375	842,936
その他	1,266,600	1,262,733
流動負債合計	15,870,686	17,455,964
固定負債		
長期借入金	4,986,100	4,954,750
退職給付に係る負債	440,215	460,308
資産除去債務	243,459	243,669
その他	1,848,468	2,047,901
固定負債合計	7,518,243	7,706,629
負債合計	23,388,930	25,162,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,629,388	1,629,388
資本剰余金	510,484	510,484
利益剰余金	1,934,329	2,253,612
自己株式	181	215
株主資本合計	4,074,020	4,393,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,780	176,704
退職給付に係る調整累計額	84,050	78,877
その他の包括利益累計額合計	269	97,827
新株予約権	22,212	22,212
純資産合計	4,095,963	4,513,308
負債純資産合計	27,484,893	29,675,902

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	13,048,943	14,363,211
売上原価	11,657,543	12,325,679
売上総利益	1,391,399	2,037,532
販売費及び一般管理費	1,550,473	1,333,906
営業利益又は営業損失()	159,073	703,626
営業外収益		
受取利息	1,711	1,326
受取配当金	7,137	3,431
不動産賃貸料	9,325	12,211
保険解約返戻金	274	-
受取手数料	4,720	5,124
貸倒引当金戻入額	-	9,000
その他	14,449	8,941
営業外収益合計	37,618	40,035
営業外費用		
支払利息	48,131	49,210
不動産賃貸費用	9,108	10,358
支払手数料	19,723	2,000
その他	1,498	5,789
営業外費用合計	78,460	67,359
経常利益又は経常損失()	199,915	676,302
特別利益		
固定資産売却益	0	-
事業譲渡益	-	427
補助金収入	-	14,214
特別利益合計	0	14,641
特別損失		
固定資産除売却損	10,970	6,894
固定資産圧縮損	4,103	9,362
減損損失	401	31,100
特別損失合計	15,475	47,357
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	215,390	643,586
法人税、住民税及び事業税	161,080	394,205
法人税等調整額	160,117	115,600
法人税等合計	962	278,605
四半期純利益又は四半期純損失()	216,352	364,981
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	216,352	364,981

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	216,352	364,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,783	92,924
退職給付に係る調整額	4,410	5,172
その他の包括利益合計	626	98,096
四半期包括利益	215,725	463,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,725	463,077

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	240,230千円	239,981千円
のれんの償却額	173,597千円	171,399千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月23日 定時株主総会	普通株式	91,396	40.00	平成26年3月31日	平成26年6月24日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月22日 定時株主総会	普通株式	45,698	20.00	平成27年3月31日	平成27年6月23日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	調剤薬局事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	12,587,957	460,986	13,048,943	-	13,048,943
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	554,050	554,050	554,050	-
計	12,587,957	1,015,036	13,602,993	554,050	13,048,943
セグメント利益	691,402	11,319	702,721	861,794	159,073

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉事業、不動産リース事業及び医薬品卸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 861,794千円には、セグメント間取引消去5,188千円、全社費用 883,953千円及び棚卸資産の調整額16,970千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における減損損失計上額は、401千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、有限会社みずゞ薬局の株式を取得し連結子会社化したこと並びに調剤薬局2店舗を事業譲受けしたことにより、のれんが増加しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、172,980千円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	調剤薬局事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	13,804,611	558,600	14,363,211	-	14,363,211
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	74,871	74,871	74,871	-
計	13,804,611	633,471	14,438,083	74,871	14,363,211
セグメント利益	1,464,942	30,138	1,495,080	791,454	703,626

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉事業及び不動産リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 791,454千円には、セグメント間取引消去3,155千円、全社費用 794,609千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、「調剤薬局事業」セグメントに与える影響額はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における減損損失計上額は、31,100千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、のれんの減損を行ったことにより、のれんが減少しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において、6,852千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	94円69銭	159円74銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	216,352	364,981
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	216,352	364,981
普通株式の期中平均株式数(株)	2,284,915	2,284,900
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	158円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	23,313
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 8月10日

株式会社アイセイ薬局
取締役会 御中

清 新 監 査 法 人

代表社員
業務執行社員 公 認 会 計 士 中 根 堅 次 郎 印

業務執行社員 公 認 会 計 士 馬 淵 貴 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイセイ薬局の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイセイ薬局及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成27年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表は、前任監査人によって四半期レビューが実施されている。前任監査人は当該四半期連結財務諸表に対して平成26年8月12日付けで無限定の結論を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。